



「みんなが輝く羽村二中」

清 風

令和8年6月29日
学校だより7月号
羽村市立羽村第二中学校

前向きな三者面談にするために

校 長 清水 大史

夏本番を感じる季節となりました。6月は梅雨による寒暖差もあり、安全や体調管理に気を付けて教育活動を進めました。全校朝礼で生徒に伝えたメッセージを紹介いたします。生徒の皆さんは、振り返りの機会にしてください。7月はしっかりと1学期のまとめをする月にしましょう。

「全校朝礼の話」より

今日の朝礼の目標は「前向きな三者面談にするために、自分ができることを考える」です。三者面談の目的は、自分と向き合い、頑張る気持ちをつくり、保護者も先生も共有して、応援・協力することです。前向きな面談にするために、私の考えを2つ話します。参考にしてくれたら嬉しいです。

1 頑張ったことを振り返り、次の目標を立てる。

まず、1学期を振り返って、自分が頑張ったことを話しましょう。次に、楽しかったことや好きなことも話しましょう。気持ちが明るくなります。また、心配なことや困っていることを相談すると、気持ちが軽くなります。そして、これから頑張りたい目標を話しましょう。目標達成のための具体的な行動も言えると効果的です。苦手の克服も大切ですが、ぜひ、好きなことや得意なことを、さらに伸ばしていく目標を立ててみましょう。きっと、自分の良さに気づくことに繋がっていきます。

2 アドバイスを真剣に聞き、素直にやってみる。

保護者や先生は、いつも皆さんの安全・成長・自立を願っています。皆さんがよりよく幸せに生きていけるように、教えてくれたり、支えてくれたりしています。時には、注意や叱ってくれることもあります。三者面談でも、真剣にアドバイスをしてくれます。このアドバイスを真剣に聞けるか、聞けないかで、人生は大きく変わっていきます。特に、注意や叱ってくれる人は、あなたの味方です。ぜひ、大切にしてください。素直な心で挑戦してみることは、自分を成長させる一番の秘訣です。

素直な心や前向きな気持ちは、次の目標や行動を生み出します。行動を続けると習慣となり、習慣が自分を創っていきます。自分の未来は、自分が創っていくのです。可能性は無限大です。前向きな面談が「みんなが輝く羽村二中」に繋がっていったら嬉しいです。応援しています。

定期考査を終えて ～ 6月16日、17日、18日 ～

1年生にとっては初めてとなる定期考査が、3日間にわたり9科目で実施されました。提出物も含め、中学校での学習の取組の成果を知る大切な機会となりました。先週には、すべての教科でテスト返却が行われ、6月29日から7月7日まで実施されている三者面談の資料にもなっています。単なる点数として結果を見るのではなく、すべての学年にとって「次につながる一歩」として捉えることが大切です。それぞれが自分の目標に向かうための経験にしてもらえたらと思います。

AED講習を通して ～6月19日(2年生)～

杏林大学の先生と学生の皆さんをお迎えし、2年生がAED講習を受講しました。まず、消防士の経験を持つ講師の先生から救急救命についての講話をいただき、その後は実際にAED機器を操作しながら、緊急時を想定した実践的な訓練を行いました。2年生は、冬に総合防災訓練への参加も予定しています。中学生は、地域の災害時においても大きな役割を担う存在であることを改めて学ぶ機会となりました。

また、翌週の校内研修では、消防署の署長2名をお迎えし、教員もAED講習を受講しました。生徒と同じように機器を操作しながら、万が一の際に命を守る行動がとれるよう実践的に学びました。

小中あいさつ運動を通して ～6月23日、24日～

二中校区の小学校3校に、中学1年生のボランティア30名が訪問し、小学生と一緒に朝のあいさつ運動を行いました。2日間にわたり、7時45分から8時5分までの20分間、元気なあいさつが響きました。卒業した小学校ということもあり、最初は少し照れくさそうな様子も見られましたが、2日目には小学生とも自然に打ち解け、笑顔で交流する姿が見られました。活動前後の打ち合わせや振り返りでは、小学生の輪の中に中学生も入り、充実した時間を共有しました。今後も継続していきたい大切な活動です。

図書室イベントより ～6月24日、26日～

本校の特色の一つである図書室イベントで、先日、家庭科の豊田先生による七夕イベントが行われました。七夕の由来を学び、日本の伝統文化に触れる機会となりました。「茄子を飾る理由(“成す”につながる語呂)」「そうめんと七夕の関係(天の川を表すことや収穫の時期)」など、興味深いお話に生徒たちは引き込まれていました。

また、その2日後には、図書委員会の3年生によるイベントも開催されました。修学旅行で得た知識をもとにしたクイズをパワーポイントで発表し、図書室の入り口での受付や発表など、それぞれの役割をしっかりと果たす姿が見られました。最上級生としての頼もしさが感じられるひとときとなりました。